

常円寺日蓮仏教研究所と 共同調査を実施

令和8年6月7日(日)、身延山大学国際日蓮学研究所は、身延山久遠寺において、常円寺日蓮仏教研究所との共同調査を実施した。本調査は、令和8年5月18日(月)に学術交流協定を締結して以降、初めて実施された共同調査である。

当日は、常円寺日蓮仏教研究所より都守基一主任、国際日蓮学研究所より桑名法晃主任・庵谷行遠副主任が参加し、身延山久遠寺第26世智見院日暹上人筆写『延山録外』全4冊を中心に調査研究を行った。

『延山録外』は、日蓮聖人の遺文や草案、要文・写本等を模写集成した重要な文献であり、今後、国際日蓮学研究所が刊行する『身延山資料叢書』において、影印・翻刻を収録し、その学術的価値を広く紹介する予定である。



令和8年6月7日調査

会場：身延山久遠寺報恩閣2階 報恩の間

作成：国際日蓮学研究所副主任庵谷行遠